



辻先生へ

1年3ヶ月 ご支援いただき ありがとうございます
先生の ご支援を受けなかったら 今頃どうなっていたか…。

息子は 中1の9月から「頭が痛い」から始まり
学校を休む日が どんどん増えていきました。

脳神経外科でMRI検査をし、異常は見つからず
メンタルクリニック、整体等通うも 一向に良くなり

ませんでした。 タンパク質、プロテインの摂取や
寝る前のマッサージ、起立性調節障害の診断を

受けてからは 毎朝 血圧を計り 塩分の多い食事…
考えられることは 手当たり次第 やりました。

時間だけが どんどん過ぎていく中で、スクールカウンセリング室
が開催された「不登校 親の会」に出席し、

そこで知り合った お母様に 辻先生のことを
教えていただきました。 その日のうちに 辻先生の著書
「不登校でもいい、それでもやっばり」を拝読し、

自分は過保護過干渉型であると気づき、
先生の支援を受けようと決めました。





N0.2

私は 家庭支援 オンラインコース を受けていました
ので、辻先生に実際にお会いすることはありませんでした。
週 2〜3 回の 電話でのカウンセリング と 毎日の LINE での
報告と コーチング をしていただく中で、自分がいかに
子どもをコントロールしようとしていたかわかりました。
子どもを自立させたいはずなのに 真逆のことをしていました。

ネットや本などでは「学校に行けない時はパワーが
足りていない。パワーがたまるまで お家でゆっくり 好きなことを
させましょう」や 「無理やり登校させるのは良くない」と
いった考え方が主流になっているようで、私は強く子どもに
言えませんでした。でも辻先生が 1 回目の 電話カウンセリング の
時に、「学校に行って欲しい」という 両親の思いは
しっかり伝えて下さい。と仰って下さったので すごく
気持ちが楽になりました。言って良いんだと。
あと、学校を休んだ日に 1 日中 テレビや ネットを
していることも 本当は嫌でしたが言えずにいました。
それも 制限して下さい と 指導してくださり、
そこから 少しずつ 変わっていったと思います。

N0.3



とは言え、これらは親の判断だけで実行するには非常に難しく、先生のご指導がなければ動いていなかったと思います。

中2の終わり頃から登校できる日が増え、学校で希望者が参加する [redacted] に行ってみたくて子どもが言いました。まだ朝も何度起こしても眠り続ける日があったり。私は行けるとは思わなかったのですが辻先生は「外に出るには良いタイミングです、行けると思います」と仰ってください。参加できました。見送りに空港に行った時、こんな日が来るなんてと感無量でした。 [redacted] ら元気に帰ってきて来て全て良くなるかと言えばそうでもなく、1ヶ月継続登校できたのは今年になってからでした。お陰様で中3時の出席日数も足りて無事卒業でき、本日 高校入学式です。

このお手紙を書くにあたり、辻先生とのLINEを始めから読み直してみました。辛い記憶がよみがえり、最後まで読めませんでした。



長く辛い日々に 寄り添っていただけたこと
心から感謝しています。

辻先生、昼夜問わず 心労が尽きない大変なお仕事
かと存じます。どうかお体を大切になさってください。

辻先生、スタッフの皆様、 本当にありがとうございました。

[Redacted signature]

[Redacted signature]

